

Fill your tomorrow



2021年3月期 決算説明会

2021年5月14日

新日本空調株式会社

- 新型コロナウイルスが全世界にまん延し、人々の暮らしや企業活動に大きな影響を与える1年となり、世界経済は急減速
- 日本経済においても前半は大きく下振れ、後半は回復傾向が見られたが、企業の景況感は一極化が鮮明
- 電子デバイス、精密機器、食品関連などの製造業は堅調で、設備投資も回復
- 建設業界では、都心を中心とした再開案件などの不動産投資も引き続き堅調
- 技術者・技能労働者不足や資機材・労務費の上昇傾向は継続
- AIやIoTを活用した技術革新への対応や、デジタルトランスフォーメーション、働き方改革による生産性向上への取り組みは不可欠

1. 2021年3月期 決算実績
2. 2022年3月期 業績予想
3. 中期経営計画の進捗成果と今後の展望
4. 配当方針・配当予想



1. 2021年3月期 決算実績 連結業績サマリー

(単位：百万円、%)

	2020年3月期	2021年3月期	前期比
受注高	107,304	103,254	△3.8
完工高	120,106	107,253	△10.7
完工総利益	14,186	13,917	△1.9
完工総利益率	11.8	13.0	1.2
営業利益	6,409	6,386	△0.4
経常利益	6,810	6,676	△2.0
当期純利益※	4,603	4,637	0.7
繰越高	72,403	68,404	△5.5

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

1. 2021年3月期 決算実績 連結決算のポイント

- 受注、完工、繰越高とともに減少するも高水準を維持
- 利益面では、受注採算性の向上、原価低減活動の浸透、コロナ禍による経費減少の効果で、引き続き高水準を維持
- 完工総利益率は、設立以来の最高値
- 当期純利益は、2期連続で設立以来の最高益を更新

1. 2021年3月期 決算実績 連結貸借対照表

【資産】 受取手形・完成工事未収入金等が 36億8千万円減少
投資有価証券が 43億7百万円増加

【負債】 支払手形・工事未払金等が 60億3千7百万円減少

【純資産】 株主資本において利益剰余金が 30億3千万円増加
その他有価証券評価差額金が 33億1千2百万円増加

(単位：百万円)

資産の部	2020年 3月期	2021年 3月期	前期比	負債・純資産の部	2020年 3月期	2021年 3月期	前期比
現金預金	12,487	12,172	△314	支払手形・工事未払金	35,261	29,224	△6,037
受取手形・ 完成工事未収入金等	59,629	55,948	△3,680	短期借入金	7,308	6,671	△636
その他	2,364	2,006	△357	その他	10,085	9,276	△807
流動資産 計	74,480	70,127	△4,352	流動負債 計	52,655	45,173	△7,481
投資有価証券	18,698	23,006	4,307	固定負債 計	1,867	2,756	888
その他	5,746	5,500	△245	負債 合計	54,523	47,930	△6,592
固定資産 計	24,445	28,506	4,061	純資産 合計	44,402	50,704	6,301
資産 合計	98,925	98,634	△290	負債・純資産 合計	98,925	98,634	△290

1. 2021年3月期 決算実績 連結キャッシュ・フロー

- 【営業活動によるC/F】 税金等調整前当期純利益 64億7千3百万円
 売上債権の回収による収入 31億7千9百万円
 仕入債務の支払いおよび法人税等の支払額 88億8千2百万円
- 【投資活動によるC/F】 投資有価証券の償還による収入 5億円
- 【財務活動によるC/F】 長期借入金の返済による支出 5億2千8百万円
 配当金の支払額 16億2千5百万円

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	3ヶ年合計
営業活動によるC/F	△1,282	11,172	1,917	11,808
投資活動によるC/F	334	179	309	823
財務活動によるC/F	△350	△6,993	△2,504	△9,849
現金及び現金同等物の 期末残高	8,102	12,410	12,095	—

1. 2021年3月期 決算実績 分野別受注高

(単位：百万円、%)

			2020年 3月期	2021年 3月期	前期比
個別	国内一般	新築	26,296	34,956	32.9
		リニューアル	49,503	50,374	1.8
	原子力		9,041	4,186	△53.7
個別受注高			84,842	89,517	5.5
関係 会社	国内		9,053	8,175	△9.7
	海外		13,409	5,562	△58.5
連結受注高			107,304	103,254	△3.8

1. 2021年3月期 決算実績 分野別受注高の概要

【新築分野】 再開発案件や産業分野案件が好調で前期比、増

【リニューアル分野】 前期に引き続き高水準で推移

【原子力分野】 新規規制基準対応工事、緊急時対策所工事が一巡

【国内関係会社】 新日空サービス、日宝工業とも、コロナ禍の影響で計画が見直し

【海外関係会社】 中国現法は堅調に推移、スリランカ、シンガポール現法はコロナ禍の影響で計画が延期

1. 2021年3月期 決算実績 分野別完工高

(単位：百万円)

			2020年 3月期	2021年 3月期	前期比
個別	国内一般	新築	36,933	35,569	△3.7
		リニューアル	54,200	49,365	△8.9
	原子力		8,509	7,165	△15.8
個別完工高			99,643	92,100	△7.6
関係 会社	国内		9,355	7,731	△17.4
	海外		11,107	7,421	△33.2
連結完工高			120,106	107,253	△10.7

1. 2021年3月期 決算実績 分野別完工高の概要

【新築分野】 大型案件が順調に進捗し前期並みに推移

【リニューアル分野】 減少に転じたが引き続き高水準で推移

【原子力分野】 完成予定工事の期ズレにより減少

【国内関係会社】 新日空サービス、日宝工業とも、コロナ禍の影響で
工事進捗が遅延

【海外関係会社】 中国現法は堅調に推移、スリランカ、シンガポール
現法はコロナ禍の影響で工事進捗が遅延

➤ 新型コロナウイルス感染症による不透明な経済状況が継続

日本国内においては、

➤ 電子デバイス、精密機器、食品関連などの製造業の設備投資は、引き続き堅調

➤ 都心を中心とした再開案件などの不動産関連投資も堅調

➤ リニューアル投資も安定的に推移

➤ 原子力分野は、引き続き発電所の新規制基準対応設備への取組や、福島の新増設事業が継続

海外では、

➤ 中国は引き続き、日系工場案件が堅調

➤ シンガポールでは延期されていたデータセンター案件が再開

➤ ミャンマーは、クーデターの影響により事業活動が停止しており、先行き不透明

2. 2022年3月期 業績予想 分野別受注高

(単位：百万円)

			2021年3月期 実績	2022年3月期 予想
個別	国内一般	新築	34,956	44,000
		リニューアル	50,374	51,000
	原子力		4,186	5,000
	個別受注高		89,517	100,000
関係 会社	国内	8,175	9,000	
	海外	5,562	9,000	
連結受注高			103,254	118,000

2. 2022年3月期 業績予想 分野別完工高

(単位：百万円)

			2021年3月期 実績	2022年3月期 予想
個別	国内一般	新築	35,569	35,800
		リニューアル	49,365	50,000
	原子力		7,165	7,200
	個別完工高		92,100	93,000
関係 会社	国内	7,730	8,500	
	海外	7,421	8,500	
連結完工高			107,253	110,000

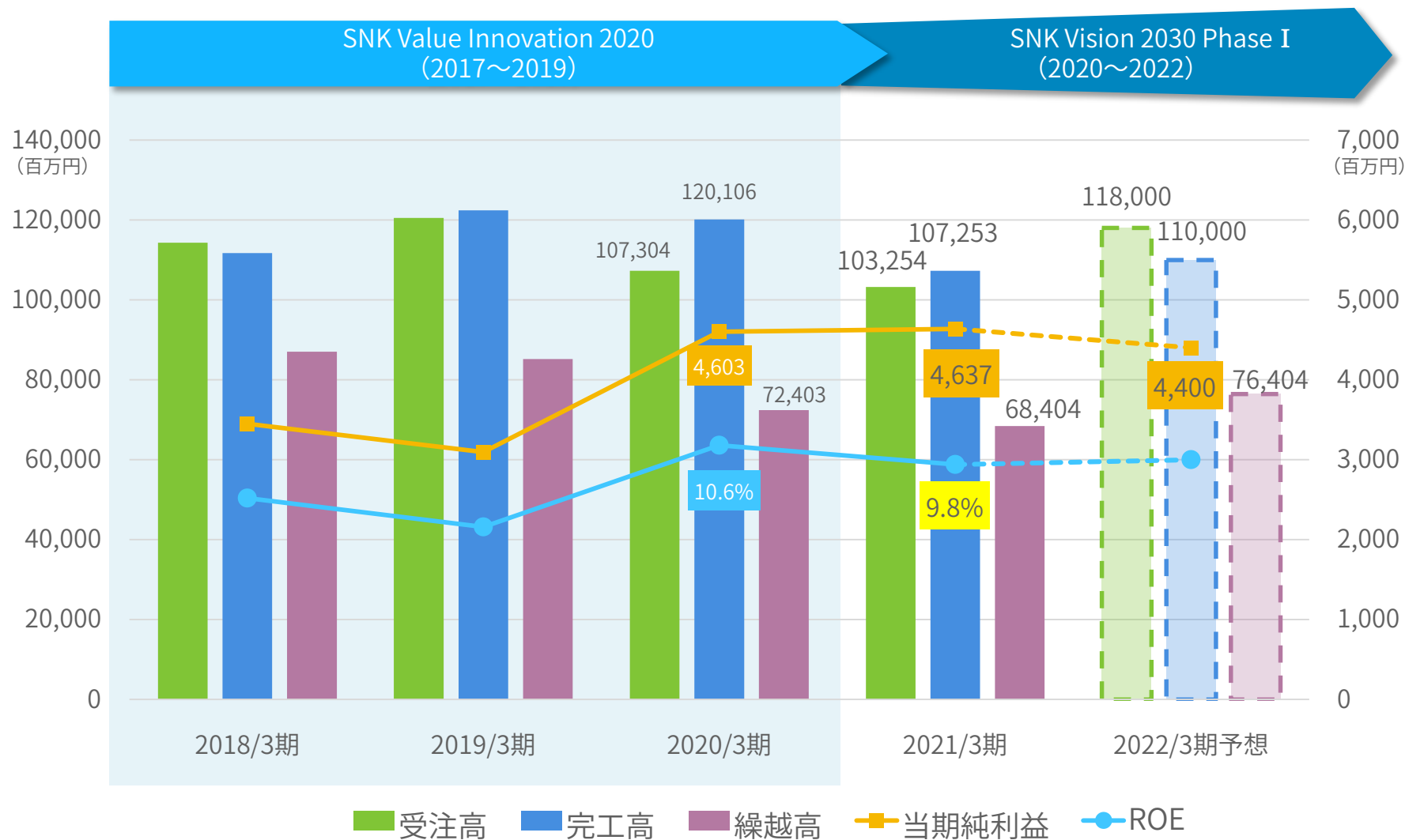
2. 2022年3月期 業績予想 連結損益予想

(単位：百万円、%)

	2021年3月期 実績		2022年3月期 予想	
完工高	107,253	—	110,000	—
完工総利益	13,917	13.0	13,800	12.5
営業利益	6,386	6.0	6,000	5.5
経常利益	6,676	6.2	6,300	5.7
当期純利益※	4,637	4.3	4,400	4.0

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

2. 2022年3月期 業績予想 2018年3月期からの連結業績推移



3. 中期経営計画の進捗成果と今後の展望 5つの基本戦略

事業基盤増強戦略

資本コストを意識した事業ポートフォリオの実現と新たな事業領域の展開による収益基盤の拡大

収益力向上戦略

事業収益力の向上と施工遂行力の持続的成長を実現する現場機動力の増強に資する安全品質管理体制の強化と生産性向上を目指す

デジタル変革戦略

デジタル変革社会に則した高度情報活用の推進と業務機動性の更なる向上を目指すために、デジタルによる情報活用を推進し、情報通信技術の高度化による当社独自のICTプラットフォームを構築し、存在価値を高める


企業統治戦略

持続的地球環境の実現とステークホルダーの長期的価値向上を見据えCSR・ESG経営の浸透展開と、それを支えるコーポレート・ガバナンス体制の強化


人的資本戦略

多種多様、多才な人材を有し、様々な専門領域にて、自己のキャリアプランと会社のキャリアパスが有機的に結びつく人的資本の育成と、働き方改革を実現する現場や事業基盤増強戦略に基づく事業分野への人材の傾斜配分


① コロナ禍における社会貢献

➤ 微粒子可視化システムと飛沫計測技術によるオーケストラなどの健全な演奏環境構築への貢献 



➤ 「可搬式抗菌フィルターユニット」と「自立型感染防止フード」の開発 



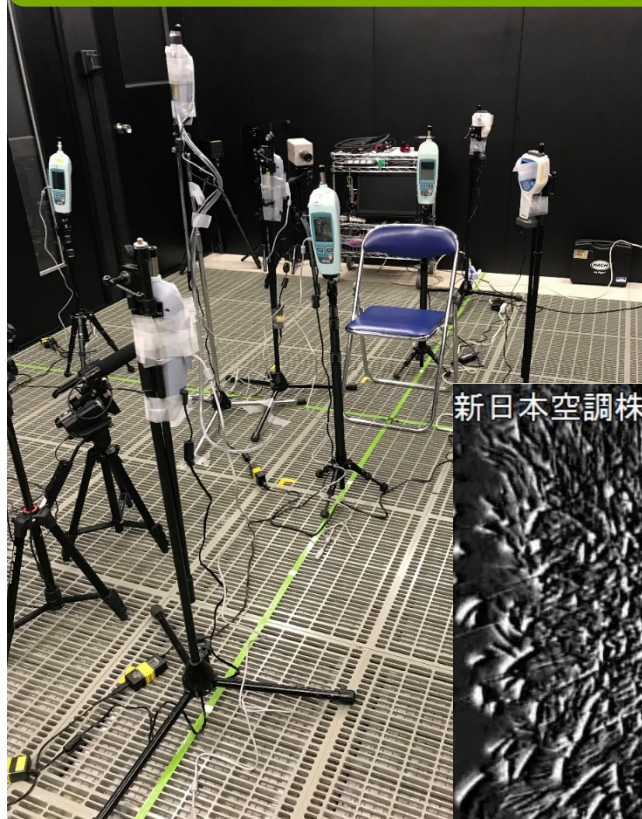
➤ 室圧変更が可能な多用途型簡易クリーンブース「DiverCell」（ダイバーセル）の開発 



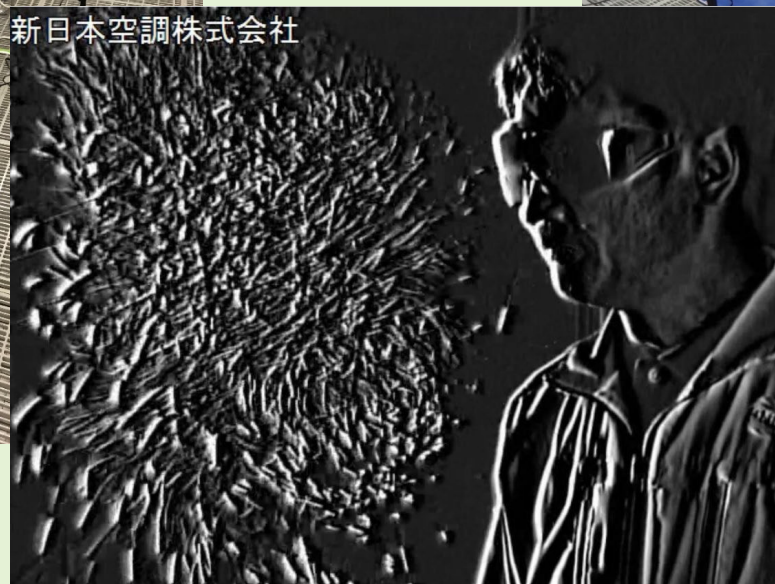

3. 中期経営計画の進捗成果と今後の展望

進捗成果 ① コロナ禍における社会貢献

微粒子可視化システムなどによる健全な演奏環境構築への貢献



▶ 動画ファイル
(YouTube)



演奏者周囲
飛沫量計測

客席周囲
飛沫量計測

くしゃみ (マスク無し)

- ▶ 「クラシック音楽公演運営推進協議会」「一般社団法人日本管打・吹奏楽学会」が結成した日本有数の演奏家や医療関係者等の専門家約60人と共に、微粒子可視化技術と飛沫計測技術による、現実的な感染リスクの低減効果を検証し、オーケストラ等の音楽活動の再開に貢献

3. 中期経営計画の進捗成果と今後の展望

進捗成果 ① コロナ禍における社会貢献

「可搬式抗菌フィルターユニット」と「自立型感染防止フード」を開発



可搬式抗菌フィルターユニット



自立型感染防止フード

- ▶ 東京都府中市の都立新型コロナウイルス感染症専用医療施設に納入済み
- ▶ 第7回「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2021」で、第1回「STOP 感染症大賞」の優秀賞を受賞



3. 中期経営計画の進捗成果と今後の展望

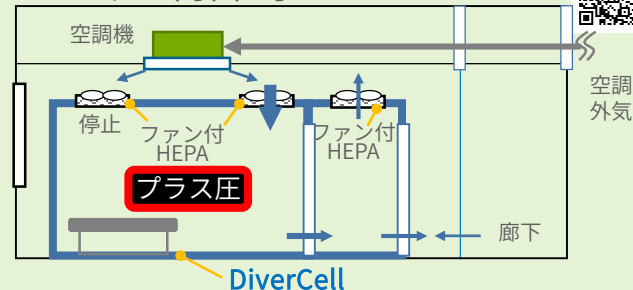
進捗成果 ① コロナ禍における社会貢献

多用途型簡易クリーンブース『DiverCell』（ダイバーセル）を開発

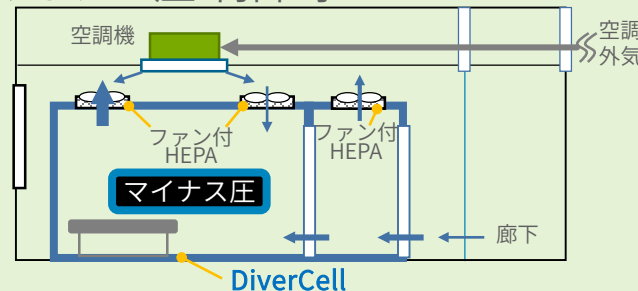


DiverCellの外観

プラス圧制御時




マイナス圧制御時




➤ 再生医療等の実験や、産業用クリーンブースとしての利用は勿論のこと、感染症発生時の仮設病室や空気感染隔離室等に活用可能。既に多方面からお引き合いを頂いており、労働・衛生環境の改善と、安心して快適な空間を提供します。

② 地球環境問題

- 田町スマートエネルギーセンターにおいて「EnergyQuest®」（エナジークエスト）による国内初となる熱融通の開始 



- 二酸化炭素の局所施肥制御技術「C-BRES®」（シーブレス）の開発と、福島県立相馬農業高等学校への導入 



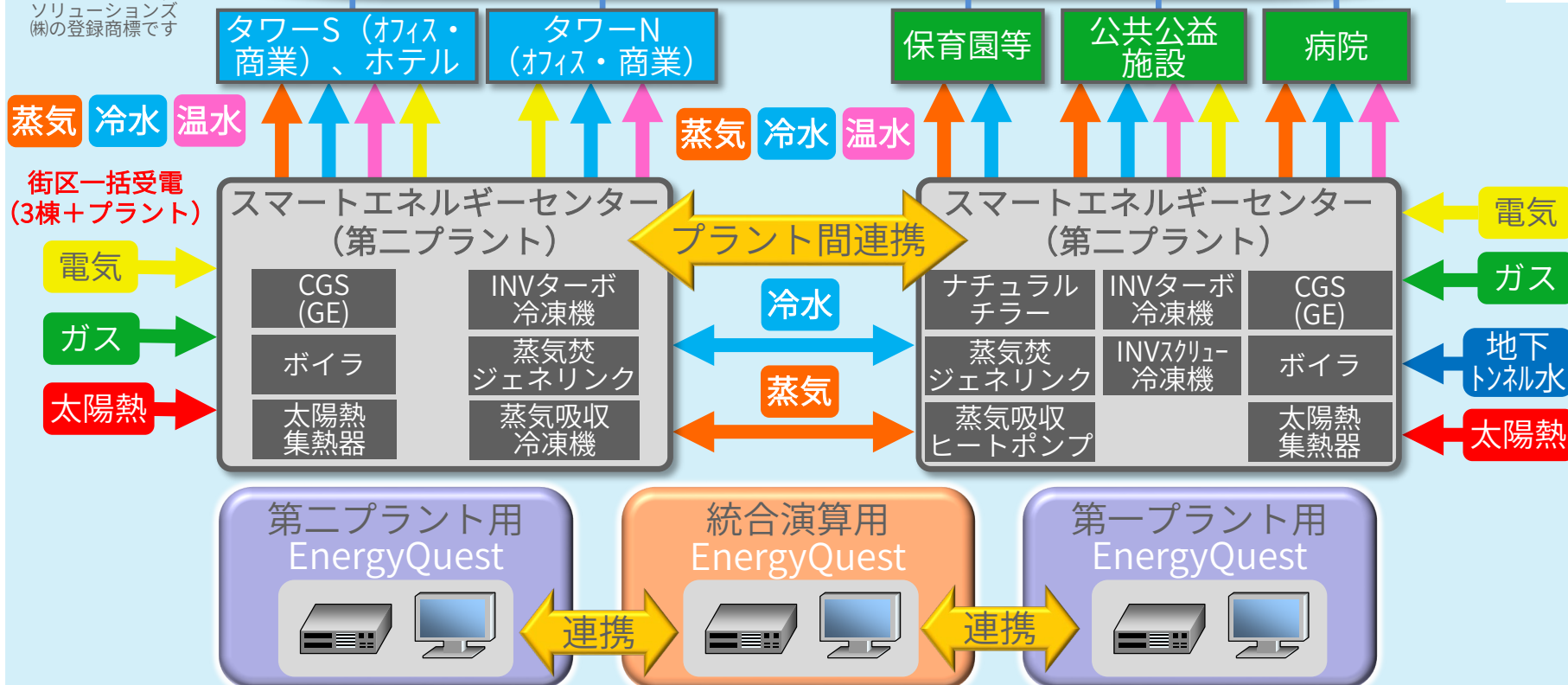
3. 中期経営計画の進捗成果と今後の展望

進捗成果 ② 地球環境問題

「EnergyQuest®」(エナジークエスト)による国内初となる熱融通の開始

※ SENEMS®は東京ガス㈱、東京ガスエンジニアリングソリューションズ㈱の登録商標です

SENEMS® ※



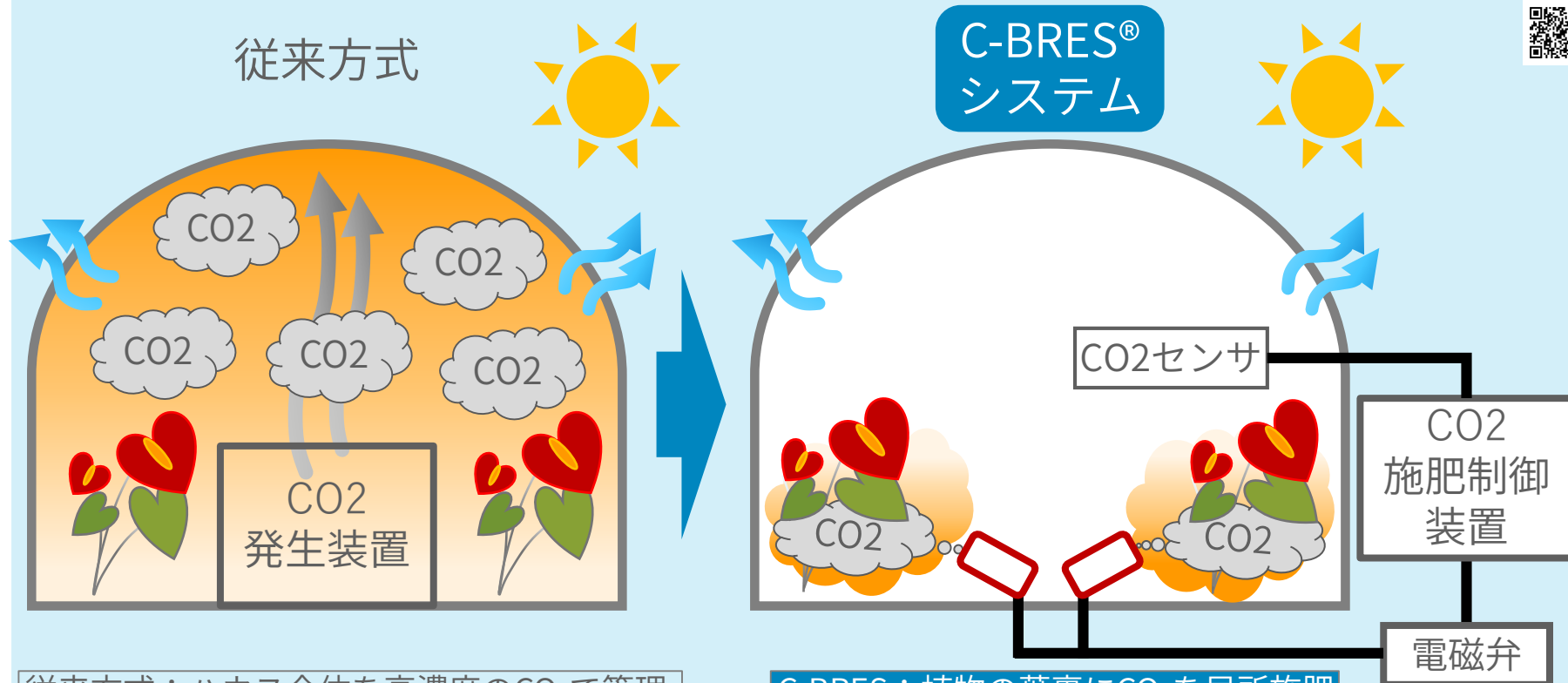
田町スマートエネルギーセンターの供給系統とEnergyQuestの構成

- ▶ 本システムの実績として、同様の地域冷暖房施設（東京都）平均値と比較して24%の省エネルギー効果を実現

3. 中期経営計画の進捗成果と今後の展望

進捗成果 ② 地球環境問題

植物に与える二酸化炭素の局所制御技術「C-BRES[®]」(シーブレス)の開発と導入



従来方式：ハウス全体を高濃度のCO₂で管理

【問題点】

- CO₂を大量に供給
- 作業者の環境が悪化
- 換気による漏洩などムダが多い

C-BRES：植物の葉裏にCO₂を局所施肥


【改善点】

- CO₂供給量を大幅に削減
- 作業者の環境が改善
- 遠隔監視、遠隔制御が可能

③ 働き方改革

➤ 建設現場の業務支援体制の強化




➤ 65歳定年制の導入 




➤ 『職能型』から『職務型』人事制度への移行




④ 生産性向上

➤ DXの推進に向けた体制強化と、生産システムの変革の取り組み 



➤ 環境測定用無線センシングシステム「Wi-Musu(ワイムス)®」のリアルタイム遠隔監視などの機能向上 



➤ VR技術を活用した現場支援システムの確立 

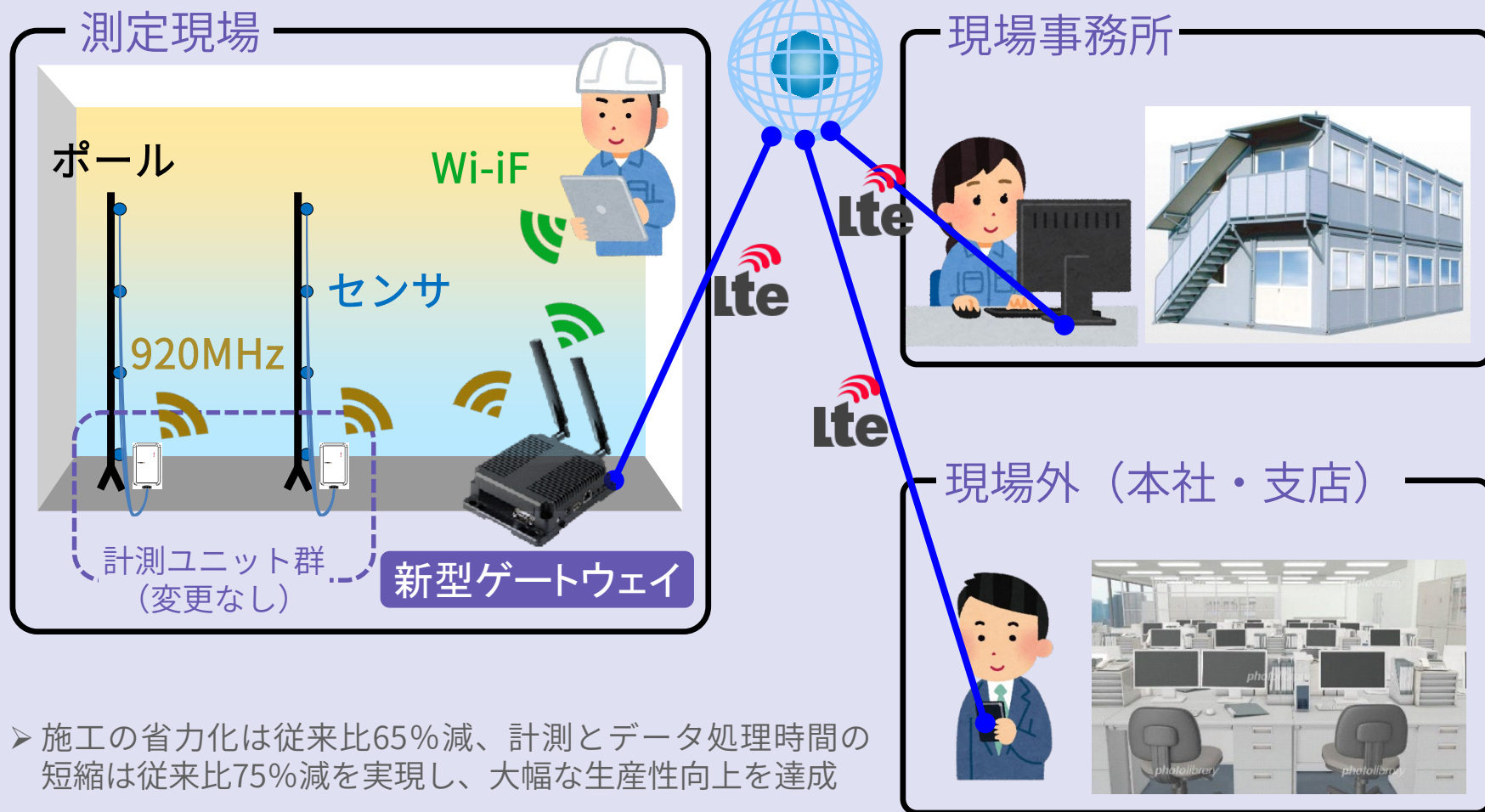


3. 中期経営計画の進捗成果と今後の展望

進捗成果 ④ 生産性向上

環境測定用無線センシングシステム「Wi-Musu(ワイムス)®」の機能向上

インターネット



- 施工の省力化は従来比65%減、計測とデータ処理時間の短縮は従来比75%減を実現し、大幅な生産性向上を達成

3. 中期経営計画の進捗成果と今後の展望 進捗成果 ④ 生産性向上

VR技術を活用した現場支援システムの確立



▶ 同時に10台の
VRゴーグルで
視聴可能

▶ 動画ファイル
(YouTube)



VR視聴の風景

▶ このシステムを活用することにより、撮影から視聴までが短時間で行え、視聴者はより現場に近い雰囲気の中で施工状況の確認ができ、タイムリーで適切なアドバイスが可能となり、現場担当者の負担を軽減すると共に、施工品質の向上に貢献

⑤ その他

➤ 中国現地法人のグローバル事業領域の拡大



➤ 表面異物可視化ツール『Dライト Type-P』
の開発



3. 中期経営計画の進捗成果と今後の展望 進捗成果 ⑤ その他

表面異物可視化ツール『Dライト Type-P』の開発



	一般照明下	ライト照射のみ	照射・専用フィルタ＋専用ゴーグル装着
① 金属製パンチング床上の異物や汚れ			
② ステンレス鋼板上の異物			

➤ 生産ラインにおける歩留り管理や、食品、バイオ、医薬品関連の品質管理と、モバイル端末などの電子機器、自動車、素材などの表面品質検査ツールとして幅広い市場へ事業展開

今後の展望

- 技術開発、成長分野への投資などによる事業基盤の増強
- グループ全体の業務プロセスのデジタル化による収益力の向上
- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）への賛同表明などによるESG経営の推進
- 人的資本の増強と健康経営、ダイバーシティの推進

配当方針

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、安定的に株主の皆様へ還元するため、引き続き利益配分に関する基本方針として、連結配当性向 30% 以上またはDOE（株主資本配当率）3% を下限として、還元してまいります

配当予想

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 予想
年間配当金（円）	70	70	65
（記念配当（円））	(10)	—	—
（特別配当（円））	(5)	(15)	—
連結配当性向（%）	35.5	35.1	34.4
DOE（株主資本配当率）（%）	4.5	4.1	3.6

免責事項

ここに記載されている当社の財務状況、経営方針、計画、業績目標等のうち歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらはリスクや不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、これらの予想とは大きく異なる可能性があります。

各種データ・資料については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

お問い合わせ先

新日本空調株式会社

経営企画本部 企画部 コーポレートコミュニケーション課 担当：多田邦彦

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号 浜町センタービル

TEL：03-3639-2701 FAX：03-3639-2731

Mail：tadak@snk.co.jp